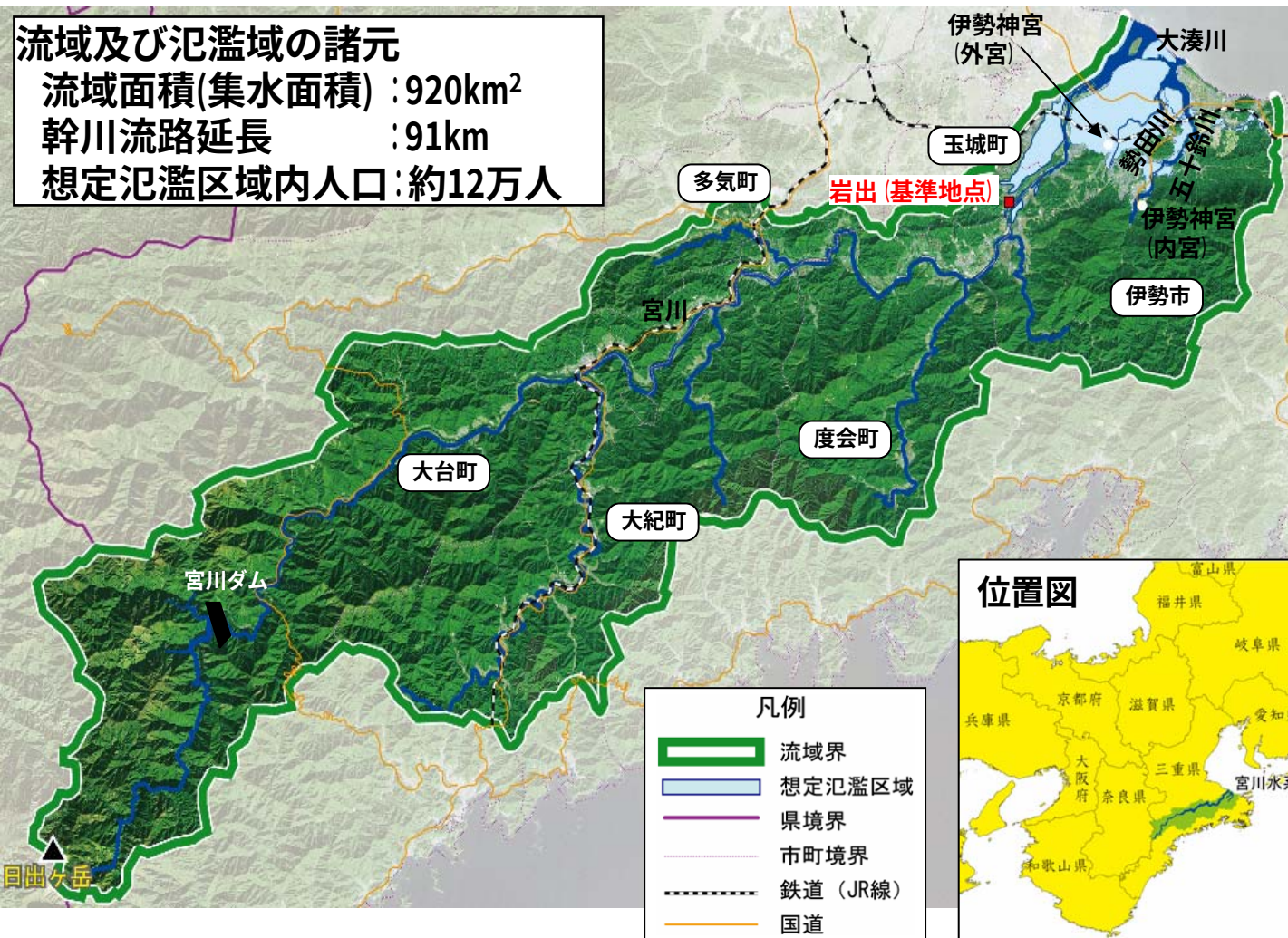


宮川水系河川整備基本方針の概要

流域及び河川の概要

- 宮川、五十鈴川、勢田川が合流している下流部の低平地域には、年間600万人が訪れる伊勢神宮を抱える伊勢市等の中心市街地が広がり、氾濫すると被害は甚大
- 日本有数の多雨地帯である大台ヶ原を源流にもち、平均年間降水量は3,400mm超
- 宮川は、平成3、12、14～16、18年に「清流日本一」となる良好な水質を保持

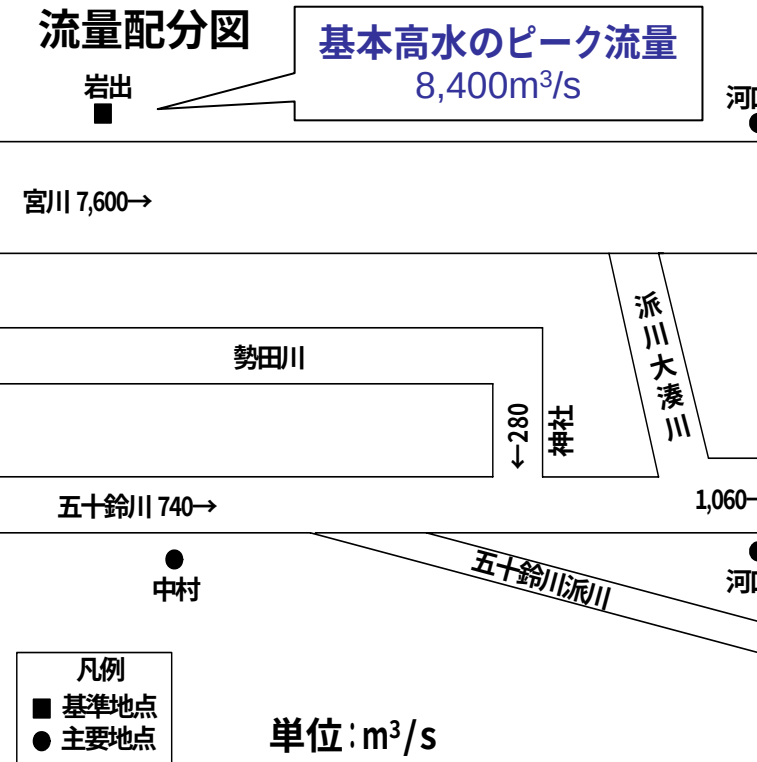


河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
- 岩出地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、4月～5月及び9月16日～12月は概ね6m³/s、それ以外の時期は概ね4m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする

災害の発生防止又は軽減

- 工事実施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、既往洪水による検討、時間雨量による検討等を総合的に検討し、河川整備基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を基準地点岩出で8,400m³/sと設定



- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、既設洪水調節施設により対応
- 堤防の新築、拡築、河道掘削及び樹木伐開により流下能力を確保
- S34.9伊勢湾台風を受けて整備された高潮堤防が老朽化しているため、改築を実施
- 流下能力が不足する勢田川では、河道掘削等を実施



河川環境の整備と保全

- 上流部では、国指定の天然記念物であるニホンカモシカやネコギギ等が生息しており、現状の良好な河川環境を保全
- 下流部では、連続した瀬や淵にはアユの産卵床が形成され、ワンドにはタナゴ類が生息していることから、河道掘削にあたっては水際の河川環境に影響の少ない範囲で掘削し、掘削法面も緩勾配化



ネコギギ



アユ産卵床